

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任		
国語	古典探究（前半）	2	2年次	齊藤裕子・坂井 淳		
選択するときの条件	2年次に全員共通履修					
使用教科書	(第一学習社) 精選 古典探究	使用副教材	(第一学習社)「精選 古典探究 学習課題集」 (三省堂)「精選古文単語298PLUS 改訂版」 (数研出版)「三訂版 古典速読トレーニング基礎」 (数研出版)「改訂版プレミアムカラー国語便覧」			
科目の目標			道徳教育のねらい			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、将来にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。			
学習活動内容	育てたい6つの力（資質・能力）					
	1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1 【古文】説話（一）			○	◎	○	
3 【古文】随筆（一）	○	◎		○		
2 【古文】物語（一）	○	○	◎			
6 【古文】随筆（二）			◎	○	○	
5 【古文】物語（二）	○	○	◎			
4 【古文】日記（一）		◎			○	○
8 【古文】物語（三）	◎		○			○
9 【古文】日記文学を読む（二）		◎			○	○
10 【古文】和歌・歌謡・俳諧を読む	○		◎			○
11 【漢文】故事・寓話	○	◎		○		
13 【漢文】古代の史話		○	◎		○	
13 【漢文】名家の文章		○	◎		○	
13 【漢文】項羽と劉邦		○	◎		○	
13 【漢文】漢詩の鑑賞	◎		○	○		
13 【漢文】不思議な世界			◎	○		○
13 【漢文】思想を読む		○	◎		○	
13						
13						
13						
13						
評価の観点	知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。					
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%	
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査	
	知識・技能	○	○	◎	◎	
思考・判断・表現	○	○	◎	◎		
主体的に学ぶ態度	○	◎	○	○		

古典探究 授業計画

授 業 計 画				実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4 (4)	古文 (6) ・『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌	説話・随筆作品に触れ、古典の面白さを味わう。	単元テスト(1)		
	5 (6)	・『徒然草』 世に語り伝ふること ・『方丈記』 ゆく川の流れ 漢文・故事成語 (4) ・推敲、呉越同舟/他	筆者の考え (伝えたいこと) を読み取る。 描写に注目して登場人物の心情の変化を読み取る。	内容理解 助動詞の活用 文の中心を読み取る 句法の復習 内容理解		
	前期中間考査 (1)				1	
前 期	6 (6)	古文 ・『伊勢物語』 渚の院	現代との違いを確認してその世界観を味わう。	古典文法理解 内容理解		
	7 (6)	・『大和物語』 姨捨				
	8 (6)	漢文 ・『十八史略』 鶏鳴狗盗 背水之陣	人物、情景、心情を読み味わう。	句法の確認 内容理解		
	9 (6)	前期期末考査 (1)				
後 期	10 (6)	古文 ・『源氏物語』 光る君誕生	敬語の用法に慣れる 表現に注目し作者の心を推察する。	古典文法理解 内容理解		
	11 (6)	漢文 ・『史記』 鴻門之会、四面楚歌	史記の文章を読み味わう。 現代との違いを確認してその世界観を味わう。	内容理解 句法の確認		
	12 (6)	古文 ・『大鏡』 弓争ひ	敬語の用法に慣れる。 人物、情景、心情を読み味わう。	古典文法理解 内容理解		
	後期中間考査 (1)				1	
	1 (6)	漢文 ・諸家の思想 孟子、老子、韓非子等	筆者の考え (伝えたいこと) を読み取る。	内容理解 文の中心を読み取る		
	2 (5)	古文 ・『更級日記』 東路の道の果て ・和歌/俳諧	表現に注目し作者の心を推察する。 描写に注目して和歌・俳句にこめられた心情を読み取る。	内容理解		
後期期末考査 (1)				1		
3 (4)	漢文 ・漢詩	漢詩の世界観を味わう				